

道徳学習指導案

対象 第3学年

1 主題名 自制する心 1－(1)

2 資料名 「独りを慎む」 向田邦子

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

節度を守り生活することは望ましい生活を送る上で大切な第一歩である。

しかし、自主的自立的な生活をめざし、節度を守って行動することは、自分で気づかないとなかなか改善できないものである。自分自身のいたらなさに気づき、前向きに生活しようとしたとき、「望ましい生活習慣」につながり、「心身の健康」も身につけていくものと考え、自らの将来を豊かにするために、節度と調和のある生活の実現にむけて努力する心情や態度を養いたい。

(2) 生徒の実態について

中学生の時期は、心と体がともに著しい発達をみせ、活力にあふれ、意欲的に活動できるようになる。また、自分が何をどうすべきかを考えることもできるようになる。

しかし、心身の発達が必ずしも均衡しているわけではないため、軽はずみな行動により健康を損なったり、時間やものの価値を軽視したり、衝動にかられた行動に陥ったりすることもある。

(3) 資料について

本資料は、筆者の向田邦子さんが家族を離れ、一人暮らしを始めたころの生活経験を述べたものである。誰にも束縛されずに生活していくうちに、自由さが自堕落へとつながっていく姿がかかわれている。

筆者は自分自身のために「独りを慎む」ことの重要性を改めて確認し、現在の生活の基本に置いているという内容である。

この時期の生徒は、他人から意見されると素直に受け止めることができにくい年頃でもあるが、本資料のように、自分自身のために自らを振り返るといった内容なら、中学生にとって納得しやすく、受け入れやすいと考える。

4 本時の学習

(1) 指導の工夫

最初に、独り暮らしをはじめたころに筆者の気持ちを想像させ、自由さを感じ取らせるようにする。中心発問としての「のりのつくだ煮の小びんの中かしらろいご飯粒がのぞいているのを見て『ぞっとした』ときの筆者の気持ち」について、ロールプレイを用い、瓶を開けたときの筆者の疑似体験を行うと共感しやすく、節度ある生活の大切さを学びやすい。

(2) ねらい

望ましい生活習慣を身に付け、充実した人生を送るため、節度を守る生活をしようとする態度を養う。

(3) 授業の展開

段階	学習活動と主な発問	期待される生徒の反応	●教師の働きかけ ○指導上の留意点
導入	1 題材名の「独りを慎む」の著者の気持ちを考えるきっかけを作る。 発問①「一人暮らしをしてみたいか」	<ul style="list-style-type: none"> ・してみたい ・したくない（全部自分がやらなくてははいけなから） 	<ul style="list-style-type: none"> ●教師の働きかけ ○指導上の留意点 ●挙手、指名により発表させる。(T1)
展開	2 資料「独りを慎む」を読み、次のことについて考え、語り合う。 発問②「アパートで独り暮らしをはじめたころ、『私』はどんな気持ちだっただろうか。」 発問③「のりのつくだ煮の小瓶の中から白いご飯粒がのぞいて『ぞっとした』とき、どんな思いを抱いたか。」 発問④・中心発問「『独りを慎む』ことができなかつたら人間として失格というのはなぜか。」(ワークシート設問2) 3 それぞれが考えた発問④の答えを班で語り合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自由だ ・がんばろう ・反省の気持ち ・恐怖の気持ち ・成長していないから ・大人になりきれていないから 	<ul style="list-style-type: none"> ●教師が範読する。(T2) ●挙手、指名により発表させる。(T1) ●生徒の意見を板書する。(T2) ○情景を鮮明に思い描かせる。 ○直ばしの意味に触れる。 ●挙手、指名により発表させる。(T1) ●生徒の意見を板書する。(T2) ○筆者が「人間失格」とまで言う理由を考えさせる。 ●「独りを慎む」の意味を教える。(T1) ●ワークシートを配布する。(T2) ●ワークシートに記入させる。(T1) ●机間指導で適宜アドバイス。(T1) (T2)
終末	4 教師の弱い部分、日々努力している内容の体験談を聞く。 5 今日の授業で感じたこと、考えた事を書き、発表する。(ワークシート設問3)		<ul style="list-style-type: none"> ●体験談を話す。(T1) (T2) ●健康十訓を例に出す。(T1) ●ワークシートに記入させる。(T1) ●ワークシートを回収する。(T2)

(4) 評価の観点

- ・自分の生活を振り返り、よりよい生活を送るため今後の生活の中での努力点をみつけることができたか。
- ・衣食住といった基本的な生活習慣を身につけることは、よりよい生き方をめざす上での第一歩であることを理解できたか。

5 板書計画

<p>① 34 独りを慎む 「独りを慎む」とは？ 故事 「君子は独りを慎む」 意味 教養人は人が見ていない ところでも良心に従い、 その行動を慎む。</p>	<p>② 独り暮らしを始めた私の気持ち (生徒の意見板書)</p>	<p>③ 小びんのご飯粒に「ぞつとした」 どんな思いだった？ (生徒の意見板書)</p> <p>フライパンをお皿代わり 部屋の中でずっと下着姿 立ち居ふるまいが居汚い 袋からお菓子を食べる だれも見っていないと・・・</p>	<p>← 転がる石はどこまでも 精神の問題</p> <p>④ 独りを慎めない＝人間失格なのは なぜか</p> <p>⑤ 今回の授業で感じたこと・考えた事</p>
--	---------------------------------------	--	---